

災害対応模擬訓練（ロールプレイング方式）を実施しました。

今後発生が懸念されている「宮城県沖地震」を初め、県内で甚大な被害が予想される「福島県沖地震」や「会津盆地西縁断層帯地震」を想定し、県内8つの建設事務所で「災害対応模擬訓練」を実施しました。

実施期間：平成21年6月18日（木）～平成21年6月26日（金）（6月18日は県庁を含めた訓練）

想定被害：「宮城県沖地震」「福島県沖地震」「会津盆地西縁断層帯地震」による県内各地の地震被害を想定
（各建設事務所管内で震度5強～6強の地震発生を想定）

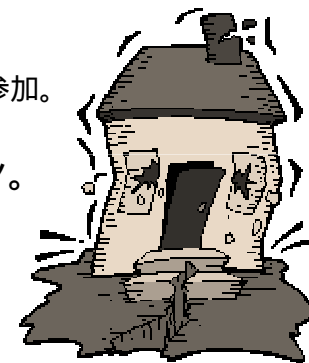
訓練参加機関：

- ・土木部内各建設事務所（県北、県中、県南、会津若松、喜多方、南会津、相双、いわき）
- ・土木部内各総室（企画技術総室、道路総室、河川港湾総室、都市総室、建築総室）
- ・災害時応援協定で土木部が協定締結している各応援団体
（(社)福島県電設業協会、(社)福島県地質調査業協会、(社)福島県空調衛生工事業協会等）
- ・被災建築物応急危険度判定士認定制度の登録者 上記の開催期間を通して延べ440人が訓練に参加。

訓練内容：各地の特性に合わせ、各建設事務所で初動体制を確立するまでのシミュレーション。

訓練効果：

- ・職員の判断力や対応力が鍛えられ、組織の処理能力向上へ寄与することができた。
- ・大規模災害発生時に陥りがちな各機関のリスクを洗い出すことができた。
- ・各種協定や認定制度に基づく迅速な応援・受援体制の確立について点検ができた。



プレイヤー側
（会津若松建設事務所）の訓練風景



プレイヤー側
（土木企画課）の訓練風景



コントローラー側の訓練風景